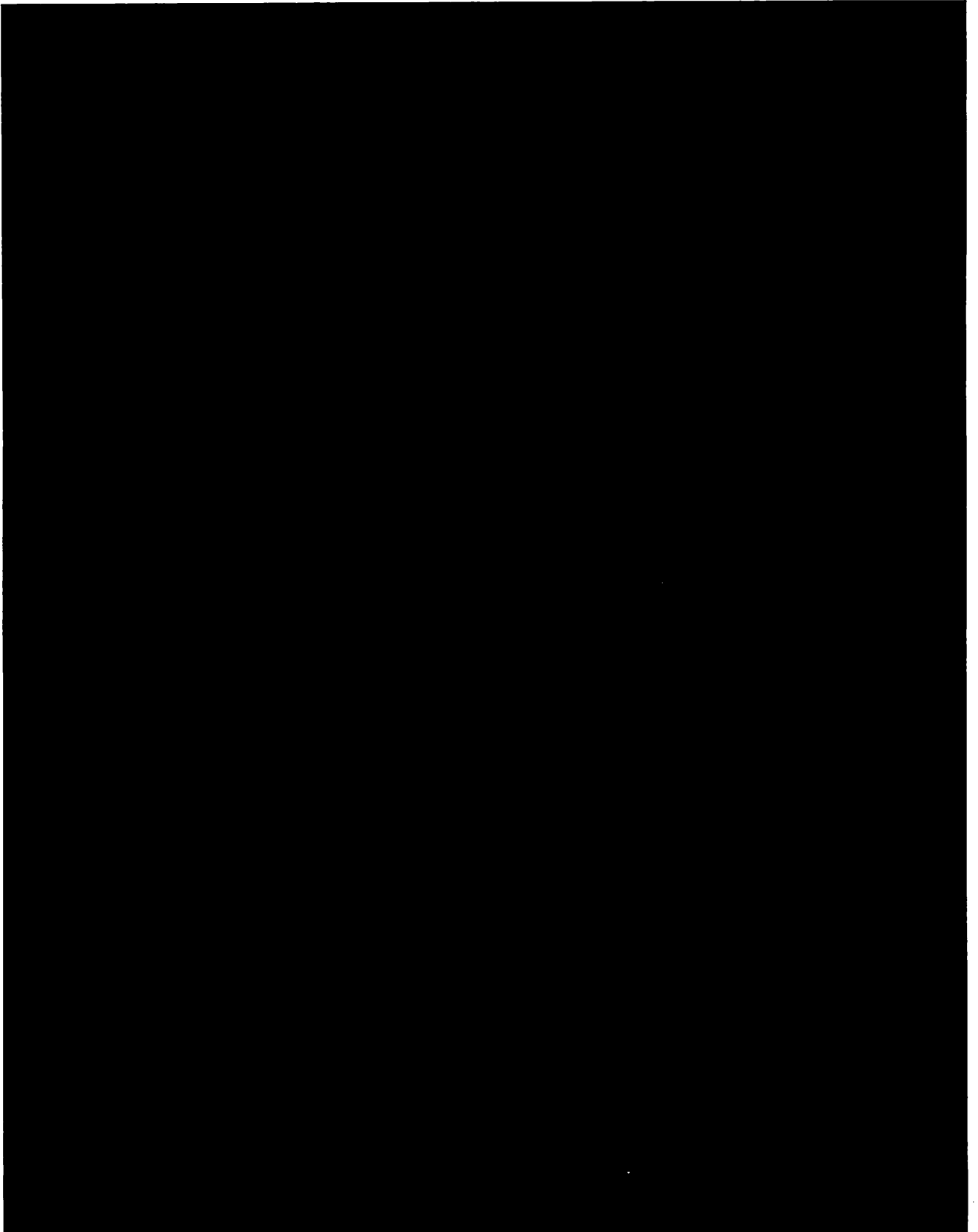


※機密性2

東海第二原発運転差止訴訟に係る事件の報道対応について

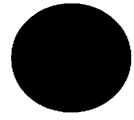
< 21 民 XXXXXXXXXX >



# 決裁・供覧

件名	常置委員会議事録			文書番号		
				東京高裁総第360号		
伺い文						
起案	起案日	令和05年01月27日		受付日		
	部署	東京高等裁判所 事務局 総務課		決裁	決裁処理期限日	
					決裁日	
					施行処理期限日	
	起案者	布留川 真			施行日	
連絡先				施行先		
分類名称	大分類	(総・庶務) 裁判官会議		施行		
	中分類	(組ろー03) 裁判官会議 議事録				
	名称(小分類)	常置委員会議事録(令和4年度)			施行者	
					取扱上の注意	
取扱区分	秘密区分			格付け 保存		
	秘密期間終了日				機密性格付け	
	指定事由				取扱制限	
					行政文書保存期間	10年
					保存期間満了時期	令和15年03月31日
決裁・供覧欄	<p>東京高等裁判所 中村 慎(長官)</p> <p>東京高等裁判所 事務局 和波 宏典(局長)</p> <p>東京高等裁判所 事務局 加藤 和広(局長)</p> <p>東京高等裁判所 事務局 総務課 松井 美由樹(課長)</p>					
備考欄						

委員長



## 常置委員会議事録

1 日時 令和5年1月27日（金）午後0時50分

2 場所 第2中会議室

3 出席者 長 官 中村愼

代表委員 高橋譲（委員長）、近藤宏子

委 員 中村也寸志、前田英子、作原れい子、日暮直子、

大善文男、野口佳子、安藤祥一郎、西野牧子

（次の2名は、ウェブ会議の方法による。）

大鷹一郎、中村恭

幹事等 事務局長 和波宏典

民事首席書記官 關澤直人

刑事首席書記官 横山真幸

### 4 議事要旨

(1) 裁判官の配置について（諮問事項）

別紙第1のとおり諮問され、了承された。

(2) 長官に差し支えがあるときの代理順序の指名について（諮問事項）

別紙第2のとおり諮問され、了承された。

(3) 職務代行の命免について（同意事項）

別紙第3のとおり同意された。

（前田委員退席）

(4) 特別の事由による事件の分配替えについて（議決事項）

別紙第4のとおり決定した。

以 上

令和5年1月27日

幹事 事務局長



東京高等裁判所裁判官配置表(令和5年2月26日現在)

(別紙第 1)

民 事 部																	
部	裁 判 官				部	裁 判 官				部	裁 判 官						
第1民事部	總	志影瀬田吉清	原浦戸中田野	信直啓孝純英	三人子一郎之	第10民事部	總	高菅有下家石	橋家賀嶋原井	忠直 尚芳	讓行樹崇秀明	第19民事部	總	小鈴田山青吉	林木中城木岡	宏順秀 裕大	司子幸司史地
第2民事部	總	渡鈴湯山齋澤	部木川口藤田	勇尚克和 久	次久彦宏大文	第11民事部	總	大原武神土押	竹 田野屋野	昭克 和美泰	彦也子一毅純	第20民事部	總	村内中鈴篠寺	上堀山木原田	正宏雅拓 利	敏達之児礼彦
第4民事部	總	鹿田頼田五	木原 中嵐	美奈晋正浩	康子一哉介	第12民事部	總	森酒井矢坂西	井出口本村	英良弘俊康真	明介隆哉博人	第21民事部	總	永神須吉中	谷野賀田野	典律 康光達	雄子郎寿也
第5民事部	總	木和真森上	納田久 原	敏道朋 卓	和雄子剛也	第14民事部	總	松塚西秋郡	本原 元司	利 理 健英	幸聡香一明	第22民事部	總	相本加内宇	澤多藤田川	哲 めぐ公	哲哉聡み輔
第7民事部	總	矢古藤三	尾閑井輪	和裕聖恭	子二悟子	第15民事部	總	中三武餘元	村村藤分芳	也 義貴重哲	志幸明紀郎	第23民事部	總	館渡河三	内邊合上	比和芳 乃	志義光子
第8民事部	總	三岡作川知大	角野原淵野畑	比典れ健 道	呂章子司明広	第16民事部	總	土森園榎糸	田岡部本井	昭礼直光淳	彦子子宏一	第24民事部	總	增小鈴遠清日貝	田海木藤水暮阿彌	隆 東克直	稔則博路久子亮
第9民事部	總	小河鈴佐廣塩	出村木木瀬谷	邦 和 健 真	夫浩典二孝繪	第17民事部	總	吉橋田石	田 本中田	英一憲	徹史隆一						

刑 事 部															
部	裁 判 官				部	裁 判 官				部	裁 判 官				
第1刑事部	総	島水丹櫻	田野羽井	一徳徳子 将芳理真	第5刑事部	総	伊島江伊	藤戸見藤	雅健ゆう 人純一子	第9刑事部	総(兼) (兼) (兼) (兼)	近足横三江	藤立山上口	宏泰孝和 子勉造浩伸	
第2刑事部	総 (兼)	大青寺仁岡白	善沼澤藤田石東井 辺山	男潔美海郎史 章夫子司	第6刑事部	総	石杉西梶	井山野山	俊正牧太 和明子郎	第10刑事部	総	細野佐駒高	田口藤田橋	啓佳卓秀正 介子生和幸	
第3刑事部	総	安楡渡下	英紀洋		第7刑事部	総(兼) (兼) (兼) (兼)	近足横三江	藤立山上口	宏泰孝和 子勉造浩伸	第11刑事部	総	三菱結河	浦田城畑	透信行勇 泰剛	
第4刑事部	総	大任安佐有	野介藤脇賀	則哉郎紀博 勝辰祥有貞	第8刑事部	総	近足横三江	藤立山上口	宏泰孝和 子勉造浩伸	第12刑事部	総	田水室白市	村上橋石原	喜周仁史都 政雅篤志	

特別部		
第1特別部 (海難事件)	第3特別部 (独占禁止等関係事件)	第4特別部 (分限, 内乱, 国民審査, 弁護士法事件等)
総 中 中 土 三 森 武 餘 園 榎 元 糸 村 村 田 村 岡 藤 分 多 部 本 芳 井 慎 志 彦 幸 子 明 紀 子 宏 郎 一 寸 昭 義 礼 貴 直 光 哲 淳 也	総 中 高 橋 大 菅 矢 本 古 大 吉 館 渡 東 小 菅 原 浅 中 本 鈴 武 田 河 中 藤 有 三 山 岡 神 田 青 三 下 土 家 石 押 中 石 吉 小 都 遠 勝 村 橋 本 鷹 野 尾 多 閑 竹 田 内 邊 林 海 林 家 井 平 吉 木 田 中 合 村 井 賀 輪 城 山 野 中 木 上 嶋 屋 原 井 野 島 田 岡 川 野 山 又 慎 讀 史 郎 之 子 成 二 彦 徹 志 義 保 司 行 也 憲 健 行 子 子 幸 光 恭 悟 樹 子 司 広 一 隆 史 子 崇 毅 秀 明 純 宏 一 地 逸 紀 士 子 英 一 雅 和 知 裕 昭 比 佐 和 宏 忠 克 弘 順 美 秀 芳 聖 直 恭 忠 泰 一 裕 乃 尚 芳 朋 憲 大 卓 道 敦 未 来 林	総 中 村 志 鹿 渡 島 内 安 影 楡 瀬 中 田 鈴 鈴 吉 湯 田 篠 水 山 齋 丹 清 頼 澤 田 五 渡 下 櫻 村 上 原 木 部 田 堀 東 浦 井 戸 山 中 木 木 田 川 原 原 野 口 藤 羽 野 田 中 嵐 十 辺 山 井 慎 敏 三 康 次 一 達 章 人 夫 子 之 一 久 児 郎 彦 子 礼 德 宏 大 德 之 一 文 哉 介 子 司 子 正 信 勇 宏 直 英 啓 雅 孝 尚 拓 純 一 奈 美 將 和 芳 英 晋 久 正 浩 紀 美 洋 理 真
第2特別部 (人身保護事件)		第5特別部 (逃亡犯罪人引渡法による事件)
総 中 三 松 岡 塚 作 西 川 知 秋 大 郡 村 角 本 野 原 原 淵 野 元 畑 司 比 利 典 理 健 健 道 英 慎 呂 幸 章 聡 子 香 司 明 一 広 明		総 中 近 伊 足 横 島 三 江 伊 江 村 藤 藤 立 山 戸 上 見 藤 口 慎 子 人 勉 造 純 浩 一 子 伸 宏 雅 泰 孝 健 ゆ 和

新件を配てんする部の構成である(旧件については、従前の配てんによる。)

(令和 5 年 2 月 26 日現在)

長官に差し支えがあるときの代理順序の指名について

長官に差し支えがあるときに長官を代理してその職務を行う裁判官を次のとおり指名する。

第 1 順位 第 10 民事部 高橋 譲 部総括判事

第 2 順位 第 8 刑事部 近藤 宏子 部総括判事

(1 月から 6 月まで。7 月から 12 月は第 1 順位と第 2 順位が逆となる。)

第 3 順位 第 15 民事部 中村 也寸志 部総括判事

第 4 順位 第 20 民事部 村上 正敏 部総括判事

第 5 順位 第 2 刑事部 大善 文男 部総括判事

第 6 順位 第 11 刑事部 三浦 透 部総括判事

第 7 順位 第 8 民事部 三角 比呂 部総括判事

第 8 順位 第 4 民事部 鹿子木 康 部総括判事

第 9 順位 第 4 刑事部 大野 勝則 部総括判事

第 10 順位 第 10 刑事部 細田 啓介 部総括判事



職務代行の命免について

種別	発令 年月日	職務代行官職	官 職	氏 名	始期	終期	備考
命	R5. 2. 11	さいたま家判事	横浜家判事（部総括）・横浜簡裁判事	湯 川 浩 昭	R5. 2. 11	R5. 3. 10	職務代行期間の延長 (R4. 12. 13～R5. 2. 10 発令済)
命	R5. 2. 20	東京簡裁判事	土浦簡裁判事	加 藤 晃 司	R5. 2. 20	R5. 3. 31	

令和5年1月27日現在、第21民事部に係属中の下記控訴事件は、令和5年度における東京高等裁判所の裁判官の配置、裁判事務の代理順序、裁判事務の分担、事件の分配、開廷日割及び行政事務の代理順序に関する定め第4章11の「特別の事由がある」ため、これを同月28日に新たに受理したものとみなし、同項の「次位」に当たる第22民事部に、同部が同日以降新たに受理することになる同章1(1)の140センチメートルを超える事件として分配する。他方、第21民事部には、前記分配替え分として、当庁が同日以降新たに受理する同号の140センチメートルを超える事件のうち最初の1件を配て入する。

事件番号	
事件名	東海第二原子力発電所運転差止等請求控訴事件
当事者	控訴人
	被控訴人

(機密性2)

## 電 話 聴 取 書

日 時 令和5年1月25日(水)午後2時00分頃

発信者

受信者 東京高裁事務局総務課広報係 中野 翔

聴取事項要旨 下記のとおり

記

(発信者)

以上